



あかつか わたる

伊賀びと(名張市) 赤塚 互さん(84) 名張市老人クラブ連合会会長

「地域に貢献することが生きがいになっている」という赤塚互さん。定年後、地域の老人会の世話役を引き受けたのをきっかけに、高齢者のまとめ役として活躍し続けている。

同市新田出身の赤塚さんは戦時中、ニューギニアやフィリピンなど南方に3年間出兵。終戦の年の9月に帰国し、銀行員や会社員として60歳の定年まで勤務した。

老人会との縁は63歳の時、自宅のある上八町老人会の会計として入会したときに始まる。70歳から6年間、同老人会会長。その後、名張地区松寿会会長や市老人クラブ連合会副会長を歴任し、4年前から会長に就いた。

同連合会は市内にある72老人会を14地区に分け、各地区代表者で組織する団体。市内の高齢者のうち老人会への加入率は40%ほどで、「もっと多くの方たちに入会していただくことで活動も活気づく」と赤塚さん。連合会ではゲートボール大会、慰安旅行、作品展、サークル発表会、ニュースポーツの普及活動など、主催事業は目白押し。そのほか、県連合会との連携に向けた取り組みにも関わるなど、赤塚さんは工芸やグランドゴルフ、菊作りなどの趣味を楽しむ余裕もないほど多忙な毎日という。

「高齢者が仕事を持って生き生きと」と、21年前には市シルバー人材センターの立ち上げに協力し、同センター登録第1号となったことは有名。名張市社協主催で12月に開く「世代間交流事業」に向け、若者と一緒に準備にとりかかっている。



ひらい しゅんけい

伊賀びと(伊賀市) 平井 俊圭さん(46) 伊賀市社会福祉協議会福祉サービス利用支援部長

伊賀市社協の平井といえば全国的にも有名な社協職員で、地域ケアシステムを提唱したり、介護保険制度の基礎となるケアマネジメント理論を使ったソフトウェアの開発者の一人でもある。

そんな彼が、今、最も力を入れている活動が、悪徳商法の被害を受けている高齢者や障がい者の救済だ。「悪徳商法にだまされた人の多くは、誰にも相談できずに泣き寝入りをしている場合が多く、消費者相談などでは、クーリングオフ等の方法は教えてくれても、高齢者や障がい者には具体的な手続きができない」という。

昨年10月から書き始めた「悪徳商法撃退ブログ」は、日々の悪徳商法に立ち向かっている状況を全国発信し、内閣府をはじめ全国誌にも取り上げられた。また、国の未来志向プロジェクトの助成を受け、「いが悪徳バスターズ養成講座」を開講し、地域ぐるみで悪徳商法を撃退する意識の醸成に努めている。しかし、それでも次から次へと手を替え品を替えた悪徳商法があとを絶たないため、日夜、地域のサロンや老人クラブ等で悪徳商法撃退法に関する講話に駆けずり回っている。

悪徳商法撃退ブログ <http://blog.livedoor.jp/akutokugekitai/>



なんでもかんでも情報BOX

「三重長寿社会」チャリティバザー

【日時】11月12日(日) 10:00~17:00
 【場所】上野ふれあいプラザ 3階中会議室
 【内容】採れたて農作物(米・豆・芋・根菜類・葉菜類・柿・果実類・花枝物等)の格安販売。未使用の家庭用品・日用雑貨類・贈答品・手作り作品の販売。
 【バザー用品も募集します】ご家庭で眠っている贈答品、未使用品等バザーで販売出来る商品を募集しています。11月4日までに連絡を頂ければ取りに伺います。また、バザーには誰でも参加できますので多数のご来場をお待ちしています。皆様の愛を少しでも与えてください。
 【主催】三重長寿社会推進協力員連絡協議会 伊賀支部
 【問い合わせ先】
 伊賀地区 0595(45)5589(西口)
 名張地区 0595(68)0584(福田)

～自分で自分をまもるために～ 「子どもと女性のセルフ・ディフェンス」受講者募集

多くの子どもや女性が、様々な暴力に脅かされています。被害者とならないために、暴力回避に有効な自己表現やスキルを身に付けませんか？

【講座】
 その1「親子で学ぶ護身術」
 対象：小学校1～3年生の子どもとその保護者
 定員：各回 15組 申込者多数の場合は抽選
 11月18日(土) 18:30~20:00 名張市武道交流館
 11月19日(日) 10:00~11:30 三重県伊賀庁舎
 その2「女性のための護身術」(WEN-DO入門講座)
 対象：小学校4年生以上の女性
 定員：各回 20名 申込者多数の場合は抽選
 11月18日(土) 14:00~17:00 名張市武道交流館
 11月19日(日) 13:00~16:00 三重県伊賀庁舎

【講師】WEN-DOインストラクター
 福多 唯(ふくだ ゆい)さん
 【参加方法】(参加費無料)
 希望する講座と会場、住所・氏名・年齢・連絡先を明記のうえ、郵便、FAX、電子メールのいずれかで下記へ申し込んでください。

【申込締切】11月10日(金)必着

【申込・問い合わせ先】
 伊賀県民センター内
 伊賀男女(みんな)できらめく委員会
 〒518-8533
 伊賀市四十九町2802
 電話 0595(24)8137
 FAX 0595(24)8010
 E-mail gkenmin@pref.mie.jp
 【託児】生後6ヶ月～就学前まで 要予約(無料)



伊賀の國づくりフォーラム

【内容】これからの伊賀の地域づくりを進めるために、住民、企業、団体、行政がどういった役割を果たすことが必要なのかを考え、その役割に応じた活動を展開するためには、どういった取り組みが必要かということについて、意見交換を行い模索します。地域づくりの伝道師として活動するフリージャーナリストの亀地宏さんの講演と伊賀の地域づくり活動家によるパネルディスカッション、参加者交流会を行います。なお、参加者交流会では伊賀の旬の味覚を楽しんでいただけるよう準備していますので、ぜひご参加いただき、お楽しみください。

【日時】11月18日(土) 13:30~17:00
 【場所】三重県伊賀庁舎7階大会議室
 (伊賀市四十九町2802)

【参加費】無料 事前申込不要
 【主催】伊賀フォーラム2010
 【問い合わせ先】三重県伊賀県民センター地域防災室
 電話 0595(24)8003
 FAX 0595(24)8010

思い出の学び舎に感謝を込めて 東小学校最後の課外授業

明治6年の創立以来、学び舎として阿波地域住民の心の拠り所であった東小学校が廃校となり早2年が経過としております。そしていよいよ今年12月より、さまざまな歴史を刻んでまいりました校舎が取り壊されることになりました。そこで思い出の学び舎にお別れと感謝を込めて、「東小学校最後の課外授業」を開講いたします。皆様お誘いあわせの上ふるってご参加いただき、それぞれの想いを校舎に刻み込みませんか？

【日時】11月26日(日) 9:00~15:30
 【場所】旧大山田東小学校(伊賀市猿野)
 【内容】体育(健康器具体操 忍にん体操)
 国語(いろいろな想いをタイムカプセルに詰めて未来に届けよう)
 図工(校内大らくがき大会)
 給食(豚汁 阿波ごはん)
 理科(救命措置を学ぶ)
 最後の卒業証書授与式
 その他 なつかしの卒業写真・山の子ども(文集)展示、校内自由散策

*授業料は要りません。軽装にてお越しください。
 【主催】阿波地域住民自治協議会
 【参加申込】準備の都合上、阿波地区の方は区長さんまで、その他の方は
 電話 0595(48)0908(西)までお申し込みください。(11月20日締切)

親子で絵本を楽しもう会

美しい絵本、おもしろい絵本、いろんな絵本を加藤啓子さんに読んでもらったあとは、世界に一つしかない我が家だけの絵本を作りましょう。

【日時】11月26日(日)

午前の部 10:00~11:30 絵本の読みあい

午後の部 13:00~15:00 手作り絵本を作ろう!

【場所】伊賀市 西部公民館

(伊賀市上野福居町3330-1 電話0595-23-9779)

【講師】加藤 啓子さん(絵本研究家)

【参加費】無料

【申込方法】午後の部に参加希望される方は、11月16日(木)までに、電話・FAX・電子メール、はがきのいずれかで参加人数をご記入の上、下記までお申し込みください。応募多数の場合は抽選します。



【託児】ご希望の方は、事前にお申し込みください。

【昼食】昼食は各自で用意してください。

【申込・問い合わせ先】

「あそぼう伊賀・こどもとえほん」

中島小夜子 〒630-2301 奈良市月ヶ瀬村石内2810

電話&FAX 0473(92)0504

森 令子 〒518-0871 伊賀市上野赤坂町335-4-205

電話&FAX 0595(24)6123

メール hrkk-mori_96@tree.odn.ne.jp

【主催】えほんとあそぼう「まんま」

平成18年度「子どもゆめ基金」助成事業

ギャラリー「楽」のご案内

寒蘭と名張の絶滅危惧植物展示会

【日時】11月18日(土)~19日(日)

10:00~17:00

【出展】中 皓さん

【点数】寒蘭30鉢

【内容】名張とその周辺で自生する植物のうち、赤目・香落溪谷の室生火山帯に属するイチリンソウ・ニリンソウ・エビネ・ササユリ・ヤマユリ・ユキモチソウ・ナツエビネ・ヤマユリ など、お亀池・曾爾高原の高層湿原に属するオキナグサ・ヒメユリ・シオガマグク・ミズチドリ・カノコソウ など、蔵持・美旗・南古山等古琵琶湖層に属するカタクリ・ハルリンドウ・キンラン・ギンラン・サギソウ など、いずれもが絶滅を危惧されています。44種に達します。そのパネル展示と、開花する時期に合わせて全国の代表種寒蘭30鉢を展示します。



西山寿一写真展 朝霧・昇陽 夜明けの詩

【日時】12月1日(金)~3日(日)

10:00~17:00 最終日のみ16:00まで

ギャラリー「楽」名張市松崎町1435

電話(開催日のみ)0595(63)2212

『楽しく親子で作ろう! 凧&しめ縄』 参加者募集!

平成18年度第2回世代間交流事業『楽しく親子で作ろう! 凧&しめ縄』を開催します。お正月に向けて、親子でいっしょに凧としめ縄を作りませんか。

【日時】12月3日(日)9:30~12:30

(受付9:00)

【会場】名張市総合福祉センター「ふれあいホール」

【対象者】名張市在住の方

【参加費】100円 【定員】60名

【申込受付期間】11月6日(月)~11月22日(水)
17時15分まで(申込順に受付、定員になり次第締切)

【申込先】名張市社会福祉協議会

電話 0595(63)1111

名張市老人福祉センター「ふれあい」

電話 0595(63)7397

写経体験・法話の集い

癒しの音を楽しみながら、写経体験(プチ修行)と内山天佑尼住職の“眠くならない”法話を行います。あなたも日常の生活や街の喧噪から離れ、写経を通して神仏と対話し、ひとときの安らぎを感じてみませんか。

【日時】毎月第3日曜日 10:00~12:00

【場所】名張市赤目町柏原「身代り不動梅香寺」

【定員】12~14名

*電話にて事前に要予約

【参加志納料】1,500円(写経用紙・ハーブティー・お菓子・お土産付)

【持ち物】(書道具、筆ペン、水性サインペン)のいずれか、携帯用安楽イス(所有者)

【ご予約・問い合わせ先】身代り不動梅香寺

電話・FAX 0595(63)8745

ホームページ <http://www.baikoji24.com/>

運転ボランティア募集!

NPO法人さんば倶楽部でいきがいを見つけてください! 伊賀地域の為に一肌脱ごうという方大歓迎

【内容】高齢者や障がいのある方の通院や買い物などをはじめ、日常的な生活の支援や、社会参加の手助けをしています。

【募集年齢】30~62歳までの方

【資格】普通一種、または普通二種運転免許保持者。(普通一種の方には一定の研修を受けて頂きます)

【申込・問い合わせ先】

特定非営利活動法人「さんば倶楽部」事務所

伊賀市生琉里3118-1

電話 0595(21)8625



伊賀び～と紙面相乗りコーナー

W.T.Aまちづくりセンター



12月までの7回ものまちづくり主催の悪徳「バスターズ」の養成講座に参加して。いろいろなまちづくり...というのと、あ、これ、700円! 来たわ～ってのもあり、ホントに楽しく身近な話でまちづくりの気をつけたい!

〒518-0867 伊賀市上野3丁目3317
 TEL: 0595-24-7612, 090-3302-0627
 Ex-mail: nagi-47-4-3@yahoo.co.jp
 代表 中野 三

伊賀市市民活動支援センター

伊賀市市民活動財政支援・コミュニティビジネス
 検討委員会の報告

平成18年10月19日に第1回の上記委員会が開催されました。委員には下記の皆様にご就任していただきましたのでご紹介します。

今回は、委員会の役割やスケジュール、またそれぞれの財政支援やコミュニティビジネスに対する合意形成のための議論が主となりました。

具体的な議論は次回からとなります。現在、この会議の議事概要等をまとめております。まとまり次第、伊賀市のホームページでご紹介いたしますので、ご覧ください。また、会議はすべて公開となっております。今回は2名の方が傍聴に来てくださいました。

次回の第2回を11月13日(月)19時から、第3回を12月22日(金)13時半から予定しております。開催場所は、伊賀市市民活動支援センターです。

委員紹介 委員長：岩崎恭典、副委員長：和田京子
 (敬称略) 田中愛一郎、松本美穂、岡島正尚、古川明郎
 乾 光哉、窪田朱子、谷村芳和 以上9名

〒518-1395 伊賀市馬場1128番地多目的集会施設内
 TEL: 0595-43-1135 (代表) FAX: 0595-43-2205
 E-mail: igasksc@ict.ne.jp
 ホームページ: <http://www.city.iga.lg.jp>
 ブログアドレス <http://blog.goo.ne.jp/igasksc/>

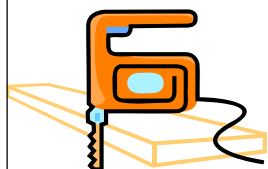
休館日：月曜・年末年始(臨時休館あり)
 開館時間：午前9時から午後9時
 (ただし、午後5時以降は前日予約が必要)



NPO法人ユニバーサルデザイン同夢

～すべての人が共に支え合って暮らしていくことができる社会をめざして活動しています～
 ただ今活動中!! スタッフを募集しています <http://www.doumu.net>

- 車いす使用者駐車区画に停めない署名活動 (三重県委託事業)
- (車いす使用者駐車区画設置への理解と協力)
- ほじょ犬アンケート調査(身体障害者補助犬法を知っていますか)
- ひとにやさしいまちづくり支援事業
- (青山小学校校区からひとに「やさしい」を発信していきます)
- 伊賀市公共施設ユニバーサルデザイン調査 (伊賀市委託事業)
- (伊賀市と協働で市内の公共施設調査をします)
- 子育て支援マップづくり(伊賀市と協力して、施設などの情報発信)



ご相談ください!! バリアフリー住宅改修・新築

(同夢は建築士、福祉住環境コーディネーター、インテリアコーディネーター
 大工さんなどの人材が豊富です)

連絡先: 0595-23-9513 090-9020-3456 (孫)

少しだけ だれかのために その愛(ちから)

NPO 法人 伊賀の友だより

豊かな実りの秋を迎えましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか？ 私たちの地元にある“伊賀の友”名前くらいは覚えていただけましたでしょうか？

いきいきサロンに音楽を届けました

9月18日(月)上友生と喰代で行われた敬老会にお邪魔をし、音楽を届けました。この日は、故郷の空、証城寺の狸囃子、長崎物語、旅の夜風、赤とんぼをみんなで歌い、楽器の演奏などもしました。お昼を食べていただいている最中にお邪魔をしてしまい、申し訳ありませんでしたが、楽しんでいただけましたでしょうか？ また、音楽以外でもゲームや懐かしい映画ビデオ、健康の話など、これからも各地区で集まる機会が増えることを願います。

生きがい支援サービスが始まりました

10月1日より市の委託事業となり、“伊賀の友”がパワーアップしました。早くも火・水曜日は、定員いっぱい10名が集まり、おっきな声で笑いあっています。何か楽しみがほしいと思っている方、みんなで手作りのご飯を食べて、楽しくおしゃべりしませんか？ 金曜日は定員目前ですが、木・土曜日は空いています。ぜひ来てみてください。「あれっ、あんたやんかぁー」って人に会えるかも…。男性の方もお待ちしております。

今後の予定

蓮池公民館で“いきいきサロン”を行います。

日時：11月22日(水)午後1時30分～

内容：音楽療法(懐かしい唱歌や流行歌)

特定非営利法人「伊賀の友」伊賀市下友生2367

電話0595(21)1833 責任者：上田佳苗

在宅災害要援護者支援ネットワーク研修会

12月2日 土

13:30~16:00

柘植中学校体育館

名阪国道上柘植インターチェンジを北進し、二つめの信号を右折し左側に柘植中学校があります。お車でご来場の方は、柘植中学校手前の柘植第二保育園駐車場をご利用ください。

13:30~14:00

「災害時安否確認マニュアルの概要」

柘植地域まちづくり協議会

健康福祉推進部会長 藤井 明和さん

14:00~16:00

「伝え合いマップづくりワークショップ」

ワークショップ指導

災害ボランティアネットワーク 鈴鹿

理事長 南部 美智代さん

モデル地域

柘植地域まちづくり協議会の皆さん

定員
100名

参加費
無料

●参加対象

住民自治協議会福祉・防災関係者
自治会関係者、民生委員・児童委員
防災ボランティア、関心のある市民

●注意事項

ワークショップでは、柘植地域に在住する一人暮らし高齢者等の個人情報をもとにマップづくりを行います。研修会で知り得た個人情報は、記録などをせずに、その場限りの情報として、他人に口外しないことを厳守できる方のみお申し込みください。

●申込方法

参加ご希望の方は、ハガキ・FAX・Eメールにて住所・氏名等ご記入の上、下記宛先にお申し込みください。
(定員になり次第、締め切ります。)

●申込先

伊賀市社会福祉協議会

〒510-0869 伊賀市上野中町2976-1

電話：0595(21)5886 FAX：0595(26)0002

メール：ue-vac@hanzou.or.jp

※各支所でも申込を受け付けます。

主催：伊賀市社会福祉協議会

協力：柘植地域まちづくり協議会・三重県防災ボランティアコーディネーター養成協議会

楽しく外国語を学ぼう！

2006年 冬季講座まもなくスタート!!!

新登場

ブラジル・ポルトガル語『会話クラス』

基礎を終了し、会話をしたい方へ《初級レベル7回講座》

木曜夜クラス 19:00~20:30

11月30日スタート

土曜午前クラス 9:30~11:00

11月25日スタート

少人数で
学ぶ



受講料：19,500円

(伝丸会員割引あり)

教材費：別途必要

教室：伝丸 新町事務所他

定員：7名(最少催行4名)



スペイン語講座

入門では物足りないあなたへ《初級レベル7回講座》

木曜午前クラス

9:30~11:00

11月30日スタート

木曜夜クラス

19:00~20:30

11月30日スタート

土曜午前クラス

9:30~11:00

11月25日スタート

お申込み・お問合せは... 多言語通訳 NPO 法人 伊賀の伝丸

TEL & FAX 0595-23-0912 月~金(祝日除く)11:00~16:00

HP: <http://www.tutamaru.com>

つながろう みんなのてとて あったかい

はい!こちら
伊賀県民センター
NPO担当
福西です。



電話 0595(24)8137 FAX 0595(24)8010
メール gkenmin@pref.mie.jp

「伊賀フォーラム2010」

皆さんは、「伊賀フォーラム2010」という組織をご存知でしょうか。おそらく、市民活動に関心のある皆さんであれば、どこかで聞いたことがあると思います。

今回、この「伊賀フォーラム2010」の主催により、11月18日(土)に、県伊賀庁舎において、『伊賀の國づくりフォーラム2006』が開催されることになりました。(詳細については、今月号の「伊賀び〜と」の2ページをご覧ください。)

そもそも、「伊賀フォーラム2010」は、平成10年10月に、豊かな実りある地域づくりを行うという目的で設立された組織で、住民活動を行っている個人や団体といった民間と、三重県や伊賀市(上野市ほか5町村)、名張市といった公共団体で構成され、民と官とが一体となって協働し、様々な取り組みを展開してきました。

具体的には、地域づくりのキーパーソン相互間のネットワークを構築するための市民交流会や地元選出の県議会議員と語る会を開催したほか、市町村合併やゴミ問題、教育問題などを検討したり、木津川に関するシンポジウムを通じて他地域との交流を図るなど、地域づくりに関する活動を行ってきました。そして、このような活動の結果、今では、「伊賀フォーラム2010」を構成する各会員がそれぞれ問題意識を持ち、それぞれが持つネットワークを生かし、専門とする各分野で力強く活動を展開するようになりました。

こうして振り返ってみると、「伊賀フォーラム2010」は、伊賀地域の市民活動にとって、非常に大きな役割を果たしたといえると思います。今回のフォーラムは、伊賀地域のアイデンティティを再確認し、今後の伊賀地域の地域づくりのあり方を議論するとともに、これまで数々の活動を通じて大きな役割を果たしてきた「伊賀フォーラム2010」の今後のあり方について検討しようとするものです。フォーラムの開催にあたっては、役員の皆さんが中心となって、今年の6月から会合を持ち、一生懸命に準備を行って来ています。このフォーラムでは、伊賀地域の地域づくりにとって、非常に実りある議論が行われるものと思います。事前の参加申込や参加費は不要ですので、できるだけ多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

ボランティア・市民活動
スローガンコンテスト結果

伊賀市ボランティア・市民活動センターが実施したボランティア・市民活動スローガンコンテストに対し、多くの市民の皆様からご応募をいただきました。小・中学生の部は、50名から計76作品が、一般の部には、44名から計83作品が寄せられました。厳正な審査の結果、特選各1作品、入選各5作品が選ばれました。

【小・中学生の部】

(特選) ボランティア みんなの愛を おすそわけ
小松 虹穂さん(丸山中学校)

(入選) ぼくの手を 役立てたいな ボランティア
馬場 聖さん(古山小学校)

少しだけ だれかのために その愛(ちから)
山本 奈々江さん(阿山中学校)

つながろう みんなのてとて あったかい
森本 陽亮さん(河合小学校)

ボランティア 笑顔のタネを まきに行こう!
大野 太一さん(河合小学校)

ねえ、ねえ、ねえ! みんなでやろうよボランティア
上谷 匡平さん(河合小学校)

【一般の部】

(特選) 地域から 声かけあって 助けあい
山本 芙佐子さん(馬田)

(入選) 小さな手 かさねあわせて大きな輪
育て地域のボランティア 乾 光明さん(猪田)

老の身も 身近かで出来る ボランティア
山本 濱子さん(古山界外)

気持ちさえ あれば活かせる 輝ける
祝 亜由美さん(大谷)

新しい自分に 出会える ボランティア
木根 正雄さん(上野忍町)

ボくらなら なんでもできる あいがア
宮本 誠基さん(桐ヶ丘)



皇學館大学

学生支援センター通信

教育現場での痛ましい事件が報道されていますね。そういえば「生きる力」が中央教育審議会から打ち出されたのが1998年でした。そこには「自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性とたくましく生きるための健康や体力」とあります。今の大学生はちょうどそんな教育を受けてきた申し子です。今度、彼らにとって「生きる力」とは何かということについて話してみようと思います。みなさんの周りでも「生きる力」とは何かを話し合ってみませんか。(社会福祉学部 板井正斉)

いが移動送迎連絡会通信

10月の連絡会では、伊賀市地域福祉計画の中で、伊賀地域の福祉有償運送をはじめ、行政バスなどの公共交通について、伊賀市より高齢障害課の担当者を招いて検討をしました。

名張市や伊賀市が新しい交通体制に変革していく中、市民にとって安心安全が担保され、利便性の良いものになるように、これからも各種団体が集まって相談していきますので皆様の参加をお待ちしています。

【今後のいが移動送迎連絡会のご案内】

【日時】11月17日(金) 19:00~21:00

12月 6日(水) 19:00~21:00

【会場】上野ふれあいプラザ3階中会議室

ボランティア 笑顔のタネを まきに行こう!

私のお気に入り 台湾ツアー2 (伊賀市猿野 堀内 晶)



昭和55年3月23日、ツアーの2日目台北の松山空港を飛び立った旅客機は高雄に近づく。台湾の南端である。波の様に家屋が並んでいるのかと思ったが、本物の海であった。超低空で今にも海へ突っ込みそうな感じでヒヤッとするうちに空港に着く。台北とは1ヵ月以上の気温差があり外へ出ると一面の熱気でメガネがくもる位で、丁度寒い日に外から帰って暖房の部屋へ入った感じであった。ゴムの樹や空の色、高さ、亜熱帯の感が強く、三毛作の水田の稲は日本の7月下旬の土用の風景で出穂寸前であった。高雄港は両側から岩山が迫って入り口が門の様になっている。人造の澄清湖は第一景から第八景迄観る所が多く、全長203メートルの九曲橋、美しい蓮の花や柳の風情、宮殿風の衆楽館や豊源閣、七重の中興塔や忠霊塔などの景色を楽しみながら寿山公園に着く。ここにも忠烈祠があった。夜は6時から市内のスッポン料理で夕食をとり、7時30分より12階建ての華園大飯店へと向かう。

24日朝バスで高雄空港へ向かい、CI274便に乗る。台北へ着いたが、空港の風が強く気温も低いのか寒く感じた。市内をバスで案内してもらおう。国旅運社の節さん、一昨日夕方から付きっきりであるが、高尾でのバスのガイドさんは別であった。この日の台北での黄ガイドさんは良い声だが、少しかん高く聞き辛かった。歌ってくれる日本の歌は第1番に「東京音頭」であった。魚は大味であった。台湾総督府であった古い建物や、龍山寺、忠烈祠、故宮博物院を見学する。忠烈祠は日本の靖国神社の感じで入口の広い門の両側にいかめしい姿の衛士が2人で立ちながら警備していた。故宮博物院秘蔵の古美術品が多く展示されていた。博物院の2階で自分も「至宝掛軸」の模写品を2幅購入する。このあとは買物観光のコースを進む。薬屋では飲み物と小林寺拳法の実演を楽しみながら、皮膚用の軟膏などの薬を買う。

夕食は「フーバーレストラン」で歌謡、奇術、曲芸などのショーを見ながら台湾特産の紹興酒を飲んだが、まずく薬のような味であった。歌はいかにも異国情緒がたっぷり、海外旅行の気分浸ることができた。バスに乗り降りする時には、まとわりつく物売りの子どもたちに悩まされた。

25日、みんなの顔は大分疲れ気味で、荷物は段々とふえてきた。22日夜、台北へ着いてガイドさんから今、台湾では厳戒令がでていて、いつ何時銃でうたれるかも判らない状況だからホテルの部屋から1歩出たら戦時中であることを忘れぬ様にと注意されたが、何ごともなく済んだことは好運であった。昨日バスでガイド様から教わった台湾の民謡「雨夜花」雨の降る夜に咲いている花を思い出しながら中正空港から帰途に向かう。大阪空港へと到着し、三交バスで午後7時40分に猿野へ着く。気温が低くて寒かった。

室地聡の一刀両断世相“斬り”(二十)

東西両洋メンタリテイ比較論(1)

多くの人はロクに吟味もしないで頭から「西洋に比べて東洋は遅れている」と思い込んでいるようだが、果たしてそうか、ちょっと考えてみよう。

前にも触れたはずだが、今日の“科学・技術”の発展は“数学”のベースなしにはありえず、その“数学”発展の最大の要因は“0”の発見、そして肝心要の“0”は、実は仏教の“空”の概念によって齎(もたら)されたもの。そしてここで“空”とはソラのことなどではなくあの有名な「色即是空」の“空”である。そして「色即是空」とは、私なりの理解によれば、「色(あらゆる事物・現象)は即ち“空”」。そして“空”すなわち“0”は、「なんにもなしのカラケツ」「“0”はいくら足してもゼロはゼロ」と殆どの人には思われているが、“0”ってのは大変な数で、確かに「なんにもなしのオケラ」であると同時に、無限の大きさも持っているという奇妙奇天烈な数なのだ。たとえば10という数の“0”がなければ、単なる“1”。だから、この“0”は実は“9”の価値を持っている。100,000,000の最後の“0”がなければ1千万、従って最後の“0”は9千万・・・、こう考えると、しまいには“0”は無限の大きさを持っているということになる。「なんにもなしのスッポンポン」であると同時に無限の価値をもっている、こんな奇妙奇天烈、摩訶不思議な考えは西洋人的メンタリテイでは絶対に発想し得ない。もっとも私自身つい最近までは、早晚西洋でも“0”の概念に到達しえたであろうなどと思っていたが、今ではそれはありえなかったことと考えている。“一如”という考えが西洋にはないからである。

“一如”とは“自他一如”“生死一如”・・・などの“一如”で、「別のモノ・別のコトのように思われているが、実は同じモノ、同じコト」更には「現われ方は違っても、元はひとつ」というぐらいの意味である。どう考えてもなんにもなしとしか思えない“空”がありとあらゆる事物・現象(“色”)とそのまみイコール、色即是空、色空一如(こんな言葉はないが)、こんな発想は、何でもかんでもモノをたて分けて考えなければおさまらない西洋人には出来ない相談であろう。また“モノ”や“現象”がなければ始まらない実証主義をベースにした“科学”を金科玉条にしている、従ってあまり上等とは言えない西洋的メンタリテイでは、優れて思弁的、形而上的な“空”とか“無”といった概念には思いが到る筈はないと考えて間違いはなさそうだ。

少しややこしいことを書いてしまったが、とにかくなんでもかんでも“欧米的”なモノが優れていると考えてしまうことはいい加減にやめにすべきであろう。ところであなた、ここへは何できた? えっ! なにっ! 車だ? 西洋人の発明した車に乗って、これも西洋の発明になる電気やガス・・・使って生活してて、よくそんなことが言えるものよ。・・・痛烈極まりないご指摘。まさに残念至極! ござる。(つづく)



なぎの「ぷらっと会議」通信



次回ぷらっと会議のご案内

11月のぷらっと会議
 【日時】11月8日(水) 18:30～21:00
 【場所】上野ふれあいプラザ
 12月のぷらっと会議
 【日時】12月5日(火) 18:30～21:00
 【場所】伊賀市役所阿山庁舎

先月のぷらっと会議は、伊賀市の地域福祉計画の部会としても位置づけられていると言うことで、どなたかがお見えになるかなぁ、と思いましたが、結局いつものメンバーで開催しました。久々のメンバーさんも来てくださって、近況報告や相談など、盛りだくさんの話をしました(^ ^)自治基本条例が出来て、総合計画が出来て、それに付随する様々な計画などが動き出している中で、私たち市民としても本当に情報に敏感になってないといけないなぁ、と感じる今日この頃です。そんな話も出来る場ですので、ご活用くださいね!

鬼瓦編集長の市民活動時事批評



Part23「コミュニティファンド」

先日、伊賀市市民活動財政支援・コミュニティビジネス検討委員会に参加しましたが、財政支援の仕組みとして、マッチングギフトやマッチングファンドが提案されました。この仕組みもおもしろいのですが、行政が寄付額と同額を保証し続けることが前提となるので、継続性に問題があります。そこで私が提案するのが、コミュニティファンドという仕組みです。

コミュニティファンド(以下CF)とは、介護・福祉といった地域内サービスの充実や、NPOやベンチャー企業などへの融資を目的として、自治体や住民からの出資などによって設立された基金のことで、自治体は、CFへの出資を目的として地方債を発行することができ、その場合、返済に必要な費用を地方交付税で賄うことができます。住民はその地方債を購入したり、直接出資することで、CFを支援することができます。その地域に根ざしたCFを形成することで、地域の資金を地域内で活用でき、官民連携による地域活性化につながるわけです。

伊賀び～と原稿募集!

伊賀び～とに掲載する原稿を募集しています。

【募集原稿】

伊賀びと(表紙)

ユニークな市民活動をしている方をご紹介ください。自薦・他薦を問いません。事前にインタビュー取材をします。住所、氏名、電話番号、活動内容をご連絡ください。

なんでもかんでも情報BOX

イベント告知、ボランティア募集等なんでもOKです。必要事項をご連絡ください。

紙面相乗りコーナー

毎号決められたスペースに掲載します。

私のお気に入りコーナー

映画、本、食べ物、名所、こだわり、なんでも結構です。原稿は800字程度でお願いします。

【原稿送り先】伊賀び～と編集委員会

〒518-0869 伊賀市上野中町2976番地1上野ふれあいプラザ3階 E-mail ue-vac@hanzou.or.jp
 メールか郵送で毎月10日までに送ってください。

発行 〒518-0869 伊賀市上野中町2976番地1 上野ふれあいプラザ3階 伊賀び～と編集委員会
 電話：0595(21)5866 FAX：0595(26)0002
 E-mail ue-vac@hanzou.or.jp ホームページ <http://www.hanzou.or.jp/beat/>

窓口=プラットホーム

- 伊賀市市民活動支援センター 〒518-1395 伊賀市馬場1128番地 多目的集会施設内
 電話：0595(43)1135 FAX：0595(43)2205 E-mail：igasksc@ict.ne.jp
- 名張市社会福祉協議会 〒518-0718 名張市丸之内79 名張市総合福祉センターふれあい
 電話：0595(63)1111 FAX：0595(64)3349 E-mail：n.furevc@nava21.ne.jp
- 伊賀市社会福祉協議会 〒518-0869 伊賀市上野中町2976-1 上野ふれあいプラザ3階
 上野支所 電話：0595(21)5866 FAX：0595(26)0002 E-mail：ue-vac@hanzou.or.jp
 伊賀支所 〒519-1413 伊賀市愛田513 いがまち保健福祉センター「愛の里」
 電話：0595(45)1012 FAX：0595(45)1050 E-mail：iga-vac@hanzou.or.jp
 島ヶ原支所 〒519-1711 伊賀市島ヶ原4743 島ヶ原老人福祉センター「清流」
 電話：0595(59)3132 FAX：0595(59)3145 E-mail：shima-vac@hanzou.or.jp
 阿山支所 〒518-1313 伊賀市馬場1128-1 阿山保健福祉センター
 電話：0595(43)1854 FAX：0595(43)1577 E-mail：aya-vac@hanzou.or.jp
 大山田支所 〒518-1422 伊賀市平田656-1 大山田福祉センター
 電話：0595(47)0780 FAX：0595(46)1165 E-mail：oo-vac@hanzou.or.jp
 青山支所 〒518-0226 伊賀市阿保1988-1 青山福祉センター
 電話：0595(52)2999 FAX：0595(52)3555 E-mail：ao-vac@hanzou.or.jp
- W.T.Aまちづくりセンター 〒518-0867 伊賀市上野福居町3317 E-mail：nagi_47_4_3@yahoo.co.jp
 電話：0595(24)7612 FAX：0595(22)0072 携帯mail：nagi-47.4.3@ezweb.ne.jp
- 暮らしの情報センター 〒518-0441 名張市夏見字下川原251-1 パークシティなばり2階「C.O.T café」
 電話：0595(61)2355 FAX：0595(61)2355 E-mail：cot@e-tuji.com
- 皇學館大学名張キャンパス 学生支援センター 〒518-0498 名張市春日丘7番町1番地
 電話：0595(61)3351 FAX：0595(61)3350 E-mail：gakusen@kogakkan-u.ac.jp